

あいちの印刷

2

2012.2
No.483



御在所岳の霧氷

もくじ

巻頭言 「JALの再生と印刷業界の再建」 ／副理事長 木野瀬吉孝	3
平成24年新春 印刷と関連業界新年互礼会	4
日産連「新年交歓会」	7
「グリーンプリンティング認定工場」 第23回認定受付中	8
インターネットを活用した ISO14001取得・管理のご案内	9
暴力団排除条例への対応と啓発	10
身近な催し物のお知らせ	11
平成23年度「印刷業経営動向実態調査」速報	12
第46回「造本装幀コンクール」作品募集	13
株光文堂主催「新春印刷機材展」 ／事務局だより	14

巻頭言

「JALの再生と印刷業界の再建」

副理事長 木野瀬 吉孝

長年にわたる放漫経営のため、破たんを余儀なくされた日本航空が、再生を目指し京セラの稲盛氏を会長に迎えたのは、2010年2月でした。当時の経済評論家たちの中で、日航の再生を予想するものは誰もいませんでしたが、2010年度の半ばには1,000億以上の利益を計上し、震災の打撃を受けながらも、2011年度末には決算予想の2倍以上の利益を見込めるまでにV字回復しました。

再生の最大の要因は稲盛氏の経営手腕ですが、彼は日航で一体何をしたのでしょうか。人員削減と赤字路線の廃止ばかりに目が行っていますが、一番重視したのが「部門別採算制度」の導入と、それを全員で取り組む体制づくりです。先日のテレビニュースで、現在の日航が一便ごとの採算を瞬時に「見える化」し、問題点と改善点が誰でもチェックできるシステムを導入していることを知りました。

そこで、日航と印刷業界（弊社も含め）を、改めて比較してみました。長年不況にさらされているのは、どちらも同じで、我々も問題点をそれなりに理解してきました。違いは、日航は核心を突く改革を進めたのに、我々はいまだに手をこまねていることです。全印工連と愛印工組は、昨年「経営の見える化」についてのセミナーを開催し、アサプリの松岡氏、大東印刷工業の佐竹氏、作道印刷の作道氏が自社の取り組みを開示してまで、懇切丁寧に業務の見える

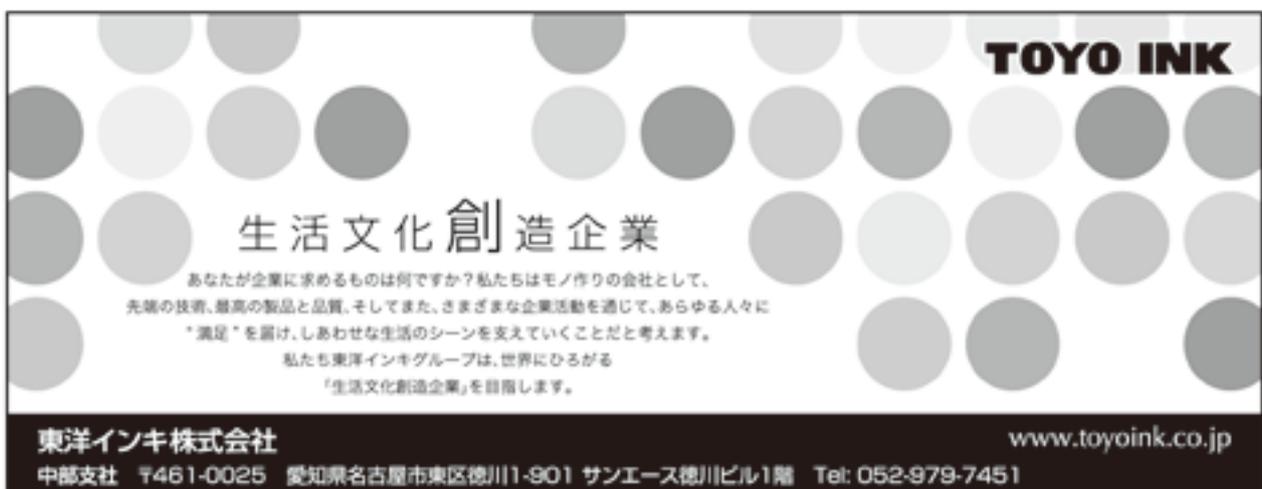
化による健全経営の方法を教えてくださいました。しかし、どれだけの会社が学んだことを実践に移せたでしょうか。

そんな反省のもと、弊社は長年使ってきた基幹システム（プリントサピエンス）を捨て、新たにクラウドによるMIS（経営情報システム）を構築しました。四国の牟禮印刷さんの協力を受け、松岡さんにも指導していただき、いよいよ3月から試験運用を開始します。

おそらく導入時にはかなり混乱すると思いますが、成功するまでやり続け、一点一点の採算を日次で確認して、弊社の赤字路線を解消する覚悟です。MISの導入に際しては、①営業マンパワーと工務残業時間の大幅削減と②原価管理による利益確保を目指すとし、社員には③加工高開示による社内生産高向上と利益配分を約束しました。

私たちの業界には企業再生機構の出資も期待できませんし、もちろん稲盛会長も来てくれません。自分たちで変革を進めていくしかないのです。ちなみに、弊社MISに関心がある方は、遠慮なくお問い合わせください。すべてを開示すると同時に、企業規模に関係なく、カスタマイズも含め安価に直接導入できるよう、システム会社に依頼してあります。

業界のためにお互いが情報交換すれば、まだまだ素晴らしい印刷業界が再建できると信じています。



TOYO INK

生活文化創造企業

あなたが企業に求めるものは何ですか？私たちはモノ作りの会社として、
先端の技術、最高の製品と品質、そしてまた、さまざまな企業活動を通じて、あらゆる人々に
“満足”を届け、しあわせな生活のシーンを支えていくことだと考えます。
私たち東洋インキグループは、世界にひろがる
「生活文化創造企業」を目指します。

東洋インキ株式会社 www.toyoink.co.jp
中部支社 〒461-0025 愛知県名古屋市中区徳川1-901 サンエース徳川ビル1階 Tel: 052-979-7451

平成24年新春 印刷と関連業界新年互礼会

平成24年新春 印刷と関連業界新年互礼会
主催：愛知県印刷工業組合 協賛：愛知県印刷産業団体連絡会



「正しい経営」「人材育成・強化」が必要



挨拶する高井昭弘理事長

新印刷会館竣工(2月11日)報告 情報発信基地、人材教育センター誕生

愛知県印刷工業組合主催、愛知県印刷産業団体連絡会協賛による「平成24年新春 印刷と関連業界新年互礼会」が、1月13日午後6時より、名古屋東急ホテルで開催されました。席上、挨拶に立った愛印工の高井昭弘理事長は、新印刷会館「MEDIAGE Aichi」が来る2月11日に竣工することを報告するとともに、ハードからソフトへの収益構造の転換の必要性を訴えました。参加者は約280名でした。

黄綬褒章受章の前崎弘光氏に記念品贈呈

新年互礼会の司会進行は、細井俊男副理事長が務め、木野瀬吉孝副理事長の開会の辞に続き、主催者を代表して高井理事長が挨拶に立ち、参加者に感謝の意を表した後、次のように述べました。

「このように素晴らしい新年互礼会を開催できることを心から幸せだと思っておりますし、感謝申し上げます。皆様におかれましては、新しい夢であるとか、希望であるとか、大きな計画であるとか、いろいろな思いを持って、良い新年を迎えられたことと思います」

次に「前理事長の白井（紘一）さんと一緒になり、土地や出資金の問題、いわゆる“戦後処理”を6年かかって、何とか処理することができました」と述べるとともに、懸案だった新印刷会館（「MEDIAGE Aichi（メディアージュ愛知）」）の建設にふれ、次のように報告しました。

「組合員の皆様からご意見をいただき、ご賛同を得て、2月11日に竣工する運びとなりました。不景

気、また業界の先行きが不透明な中での建設ですが、業界の拠点、情報発信基地、さらには人材教育センターとして、皆様にしかりとご活用いただけると私は信じています」

そして「新印刷会館の建設にあたり、組合員の皆様にいろいろな意味でご面倒をおかけし、ご無理を申し上げました。あらためてお礼申し上げます」と感謝の言葉を述べました。

続いて業界動向に言及。「我々の業界もハードからソフトの時代になってきたのではないかと思います」という認識を示し、その具体例として、印刷部門よりも、企画・デザイン・制作などの部門に仕事が集まっている事例を挙げた上で、「今後、我々の業界の収益構造もハードからソフトへ変えていく必要があるのではないかと思います」と変化への対応の必要性を強調しました。

さらに、第1次産業の農漁業者が、国や行政の助成により、第2次産業の食品加工や第3次産業の流通や販売を包含して「第6次産業」化を図っている事例を紹介。そして第1次産業が第6次産業へ転化



中部経済産業局・彦坂謙二課長



愛知県・杉浦健二次長



全印工連・水上光啓会長



愛知県議会・塚本久議員

するための“お手伝い”が可能なのは「情報サービス業である我々です」と前置きし、「印刷業界の“幅”は非常に広い。お客様の業種も多様であり、我々は情報をたくさん持っています。ですから、紙にインキを付け安く売ること、これは止めるべきであり、どのようにしたら社会のお役に立つかを真剣に考えるべきです。間違いなく社会のお役に立てば必ずマーケットは広がっていき、道は拓けると思います」と述べました。

最後に、不況の時こそ「正しい経営」の実践、そして「人材の育成・強化」が必要と述べ、挨拶を締め括りました。

続いて、来賓3氏が祝辞（要旨）を述べました。

・中部経済産業局産業部流通・サービス産業課・彦坂謙二課長

「印刷業というよりは、情報サービス業として、他の業界の方々と一緒になり、連携しながら事業を推進することが重要ではないかと思っています。中部経済産業局では、この地域の経済・産業の活性化を図るため『中部地域八ヶ岳構造創出戦略』を推進しています。これは、いろいろな業種、ジャンル、関係者の方々がコラボレーションを組み合わせながら、新しい産業の芽を創出しようというものです。行動しなけ

れば、新しいビジネスは起こってきません。ぜひ、私どもを利用させていただきたいと思います」。

・愛知県産業労働部・杉浦健二次長

「中小企業の皆様は厳しい状況に直面し、先行きも不透明で不安をお持ちでしょうが、私ども愛知県としては、日本最大の産業集積地を誇る愛知が元気になってこそ、初めて日本が元気になると認識しています。元気を出していただけるよう、資金面、人材育成面、流通面で支援をしていきます。2月14日には“知の拠点”としての『あいち産業科学技術総合センター』がオープンします。これにより、充実した支援ができるのではないかと考えています。いろいろな面で利用させていただきたいと思います」。

・全日本印刷工業組合連合会・水上光啓会長

「全印工連は、8年間にわたって皆様に業態変革を提唱し続けてきました。今年の3月で、本部からの業態変革の情報発信は止めます。しかし、業態変革は終わるわけではありません。組合員企業各社が、それぞれ業態変革を自社の中に取り入れ、推進していただきたいと思っています。もう8年間、種まきをしました。充分種をまいたと思っています。これから業態変革に必要なことは、実践、実行しかありません。もちろん、業態変革を実践、実行するのは、大

オフィスに店舗に工場に、「LED照明」をご提案いたします。

私たちは、
地球にやさしい商品とサービスの提供を通して、
心豊かな社会の実現に貢献します。



株式会社 AXUAS

本社所在地 〒460-0008 名古屋市中央区栄一丁目25番35号
名古屋本部 TEL:052-220-5511 FAX:052-220-1522
Home Page <http://www.axuas.jp> / E-mail info@axuas.jp

「LED照明器具」の販売を始めました。

「LED照明」は地球環境にやさしい照明です。
聞いてはいるがよく判らないという方のために、
本社1階にショールームを開設いたしました。
ぜひ一度、体験して下さい。

オフィス、店舗、倉庫、工場の照明をはじめ、
ディスプレイや電飾看板にも使えます。
必ずやお客様へのヒントがそこにあるはずです。
心よりお待ちしております
(名古屋本部 環境ソリューション事業部)



前崎弘光氏(右)への記念品贈呈(左)
約280名の参加により開催された新年互礼会(上)

変力のいることだと思います。茨の道だと思います。全印工連はたくさんの冊子を皆様に提供してきました。それらの冊子は茨の道を少しでも歩きやすくする、そういう冊子だというふうに思っています。もうお読みになっていると思いますが、ぜひあらためて再読していただきたいと思います」。

次に、昨年、昭和印刷株の前崎弘光社長（元副理事長）が黄綬褒章を受章したことから、記念品が高井理事長より贈呈されました。これを受け、前崎社長が次のように謝辞を述べました。

「この新年互礼会の晴れやかな舞台に、こうして立たせていただき、大変嬉しく感激でいっぱいです。この栄誉は、各界の諸先輩、また組合関係の皆様のご指導、取引先の皆様のご支援、ご協力があったれ

ばこそです。これからも私どもを取り巻く環境は厳しいと思われませんが、微力ながら精進して、このご恩をお返しするつもりで、また頑張っていきたいと思っています」。

なお、司会進行の細井副理事長が、「前崎社長におかれましては、受賞記念パーティを計画されていましたが、記念パーティを取り止め、新印刷会館（メディアージュ愛知）の建設費にと多額の寄付をいただきました」と報告。前崎社長にあらためて大きな拍手が送られました。

この後、愛知県議会議員の塚本久氏（愛印工顧問）の発声で乾杯し、祝宴に入りました。

参加者が情報交換、歓談した祝宴は鳥原久資副理事長の中締めでお開きとなりました。

なお、鳥原副理事長は中締めで先立ち、「中国の易经に“窮すれば即ち変ず 変ずれば即ち通ず 通ずれば即ち久し”という言葉があります」と前置きして、次のように述べました。

「これはどういう意味かと言うと、追い込まれた時、本当に困ってこれ以上どうしようもないという時に初めて変化をする。変化をしてようやく道ができる。そのできた道は久しく続くという譬えです。非常に厳しい中、2012年はいよいよ業界、企業そのものが変化をしていく時ではないでしょうか。2012年、今日を起点として未来に続く、永続的に繁栄する企業づくりをしていただきたい。組合として各種の事業により、そのためのバックアップ、フォローをしていきますので、ぜひご参加いただきたいと思



司会進行を務めた細井俊男副理事長(上左)

開会の辞を述べる木野瀬吉孝副理事長(上)



中締めで先立ち挨拶する鳥原久資副理事長(左)

日印産連「新年交歓会」 印刷産業発展に向け全力 「顧客の課題解決に参画し、より高い 価値を提供」



挨拶する猿渡会長

（社）日本印刷産業連合会（猿渡智会長）の新年交歓会が1月10日東京・虎ノ門ホテルオークラ東京「平安の間」において開催された。政界・官界・印刷関連業界を含め約750名が出席し、印刷産業界の2012年の幕開けを祝した。猿渡会長は挨拶の中で、「顧客の課題解決に参画し、より高い価値を提供していくことで、印刷産業はこれからも持続的に成長していくことが可能である」と語り、印刷産業発展に向けて全力を尽くす決意を表した。

交歓会冒頭、挨拶に立った猿渡会長は東日本大震災にふれ、「今なお厳しい状況におかれている被災地の皆様に、心からお見舞い申し上げます。産業界が一つになって、さまざまな困難に立

ち向かい、復興を着実なものにしていかなければなりません」と復興支援の継続を示した。そして、世界経済の動向、厳しさを増す業界環境について次のように述べた。

世界経済では、「昨年、欧州経済危機や円高相場の高止まりなど、世界の出来事が我々にも影響を与えています。そのため、グローバルな視点での経営が必要になってきます」とした。そして業界動向に言及し、「昨年発表した『SMATRIX2020』でも触れましたが、他分野と思われた産業との競争も当たり前ものとなっています。環境が常に変化し続けていく中で、これまでの仕事のやり方に固執しては成長を見込めません。自らの強みを再発見して特化すること、あらゆる他の事業者と提携することなどで、異なった強みを創出することができれば、これまでにない付加価値を生み出すことが可能となります」。

「私たち印刷事業者は顧客のさまざまな要望のお手伝いをする役割を果たしてきました。顧客のパートナーとして機能することで、厚い信頼を勝ち得てきた企業ばかりです。このことは他の産業にない強みとなっています。この信頼を基に顧客のさまざまな課題解決に参画し、より高い価値を提供していくことで、印刷産業はこれからも持

続的に成長していくことが可能だと確信しています」と強調した。

また、猿渡会長は日印産連として、「会員各社の経営基盤強化のために、市場動向や技術革新動向をはじめとする内外の有用な情報を収集・発信し、印刷産業のさらなる発展に向けて一層の努力をしていく所存です」と決意を述べた。

来賓を代表して祝辞を述べた経済産業省の今林顕一大臣官房審議官IT戦略担当は、「印刷機の発明は情報革命そのものでした。そして最近では、ITそのものにも革命が起こっています。しかし技術だけでは人は感動することはありません。やはり人とのつながり、地域とのつながりが決め手となります」とした上で、「皆様一人一人が持っているサービス、技術、伝統、地域とのつながり、知恵といったものは非常に優れたものがあります。さらに印刷業界には、環境配慮型の印刷製品やGP認定制度、環境優良工場表彰など、素晴らしいものがあり、他の産業に負けない力を持っています。今後も、意欲と勇気を持って時代の荒波にチャレンジする方々を応援していきたいと思っています」と語り、印刷産業の発展を祈念した。

その後、鏡開きに移り猿渡会長を始め、経済産業省、政界、関連業界からの来賓が登壇。佐久間国雄印刷インキ工業会会長の音頭で乾杯を行い祝宴に入った。

和気藹々の歓談が続く中、日印産連10団体のトップが登壇し、日本グラフィックコミュニケーションズ工業組合連合会の小林博美会長が、業界の繁栄と復興を願う三本締めを行い終宴した。

OLIVER496SD

菊全判4色
印刷機

大型多色SDシリーズ 第一弾

オールインワン
最新自動化設備 完全装備

製品の詳細はこちらのURLをご覧ください
お問い合わせは下記まで

Sakurai

株式会社 桜井グラフィックシステムズ
<http://www.sakurai-4s.co.jp>

本 社
〒125-0032 東京都江戸川区藤原2-2-9
TEL (03) 3645-1131/PC FAX (03) 3645-1138

中部営業所
〒501-3733 岐阜県津市2001
TEL (0575) 35-2551/PC FAX (0575) 35-2681

大阪営業所
〒552-0212 大阪府守口市藤原1-31
TEL (06) 6308-6651/PC FAX (06) 6308-6679

九州営業所
〒810-0021 福岡市中央区南1-5-2
TEL (092) 741-2572/PC FAX (092) 741-2670

岐阜工場
〒501-3733 岐阜県津市2001
TEL (0575) 35-1860/PC FAX (0575) 35-3148



環境に配慮した印刷総合認定制度

「グリーンプリンティング認定工場」

第23回認定受付中



グリーンプリンティングマーク

(社)日本印刷産業連合会（以下、日印産連）では、印刷業界の環境自主基準である「日印産連『各種印刷サービス』グリーン基準」に準拠した「グリーンプリンティング認定（以下、GP認定）を行っている。（昨年12月現在、273工場、そのうち全印工連は145工場がGP認定工場）。

GP認定は、日印産連グリーン基準（工程および事業者の取り組み）を達成した工場に対し、客観的評価による認定を行い、環境優良工場としてクライアントなど社会に対し、幅広くPRすることができる制度。

■GP認定取得の主なメリット

(1)紙・ゴミ・電気の削減でコストダウン効果が期待できる。

印刷工場から出るゴミは産業廃棄物になるが、用紙の使用枚数管理、ミス削減、ゴミの分別排出などを行うことで、廃棄物を削減して産廃処理費用を削減することができ、上質紙はリサイクルに回せば逆有償で利益も出る。また、省エネ対策として空調設定温度の緩和や印刷機補機の不要時停止、最大電力の抑制などを行うことで、電力を削減して電気料金を削減することができ、コストダウン効果が期待できる。紙・ゴミ・電気などはパソコンで簡単に数値管理が可能であり、経営管理に直結する。

(2)顧客に環境にやさしい企業であることをアピールできる。

GP認定工場は、「グリーンプリンティングマーク（GPマーク）」を名刺、ホームページなどに表示することができ、顧客に環境にやさしい企業であることをアピールでき、企業のイメージアップにもなる。また、GP認定工場は、工程や印刷資材の環境配慮の度合いに応じて、GPマークにワンスター、ツースター、スリースターを表示した印刷物を顧客に提案することができる。

(3)全社員で取り組む環境活動は社員教育になり業績アップが期待できる。

日印産連のグリーンプリンティング制度専用ホームページ

(<http://www.jfpi.or.jp/greenprinting/how.to/index.html>)にあるガイドライン（PDF）や、認定審査申請書・認定評価表兼チェックシート（EXCEL）に則った全社的な環境活動（環境に配慮した印刷用紙やインキなどの採用、ゴミの分別・リサイクル、省エネ、5Sなど）は、社員教育になり業績アップが期待できる。

■グリーンプリンティング認定工場取得に関わる料金は一覧表参照。

■問い合わせ先 日印産連グリーンプリンティング認定事務局（東京都中央区新富1-16-8日本印刷会館 TEL03（3553）6079） e-mail gp-nintei@jfpi.or.jp

第22回グリーンプリンティング工場認定結果

日印産連では、昨年12月に開催した第22回工場認定委員会において、新規10工場と更新10工場合わせて20工場を認定した。これで認定工場は全273工場となった。なお、今回よりオフセット印刷部門ではデジタル印刷工程の認定を開始し39工場を認定した。このことによりデジタル印刷物にGP製品マークを付与できる工場が誕生した。また、GP資機材認定制度においては、洗浄剤5製品、エッチ液4製品、現像機2製品の計11製品の認定が行われた。

新規認定工場（関連工場のみ）

オフセット／竹田印刷(株)本社工場（名古屋市昭和区）、同高辻工場（名古屋市昭和区）、同関東事業部（東京都北区）、同越谷工場（埼玉県越谷市）



グリーンプリンティング認定工場料金一覧（組合員価格）

単位：円

従業員規模	認定申請料	審査料	認定登録料	合計
9人以下	20,000	40,000	20,000	80,000
10～19人	20,000	80,000	20,000	120,000
20～29人	20,000	130,000	20,000	170,000
30～49人	20,000	180,000	20,000	220,000
50～99人	20,000	230,000	20,000	270,000
100～149人	20,000	280,000	20,000	320,000
150～199人	20,000	330,000	20,000	370,000
200～249人	20,000	380,000	20,000	420,000
250～299人	20,000	430,000	20,000	470,000
300人以上	20,000	480,000	20,000	520,000

※1) 従業員規模の人数には、従業員の他役員も含まれる

※2) 3年ごとに更新審査が行われ、更新審査費用は上記「審査量」のみとなる

ISO 14001 認証取得を検討中の皆さんへ

インターネットを活用した ISO 14001 取得・管理のご案内

印刷業界に特化したシステムで無駄を省きコストダウン

全印工連では、地球温暖化対策など企業の環境対策が重要視される中、日本電気（NEC）とコンサルティング会社のトーマツイノベーションの協力のもと、簡単・短期・低価格のインターネットを活用したISO14001取得・管理支援に取り組んでいる。

ISO14001認証取得の方法の一つとして、インターネットを活用して効率的なISO14001取得・維持管理に役立つネット方式の検討を推奨している。（ISO9001取得企業がISO14001認証を取得する場合、審査負担を軽減する「複合審査」も利用することができる）。

【インターネットを活用したISO14001認証取得・管理システム（環境経営印刷ネットワーク）】

インターネットを活用したISO14001認証取得・管理システム（環境経営印刷ネットワーク）についての概要をまとめると次のようになる。（図1参照）

- 1) ISO14001認証の取得に必要な規定・帳票類を標準装備した「ネットISOシステム」により期間を大幅短縮および効率的に運用・維持を実現。
- 2) 「ネット審査」（eラーニング／環境教育）により効率的に社員への環境教育の浸透を図ることが可能。
- 3) 「ネット審査」（ネットAudit／電子審査）によりネット経由で登録したISO書類を審査し、現地審査の工数を削減。
- 4) 「環境配慮型サービス」のネットEMSはペーパーレス、人、モノの移動、労働などの環境負荷削減、資源の効率化を実現。
- 5) ISO14001認証取得後の環境負荷低減と利益創出を同時に実現する「環境経営」をサポート

【インターネットを活用したISO14001取得コンセプト「4e」】

ISO14001取得コンセプト「わかりやすい」「早い」「安い」「実行しやすい」を示した。（図2参照）

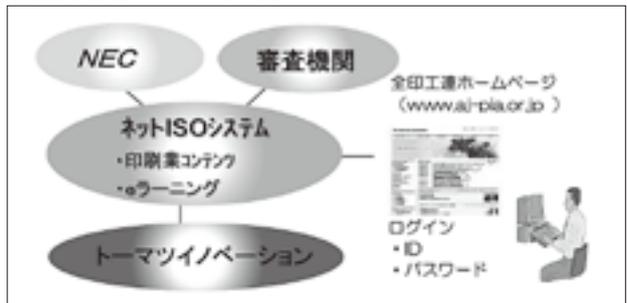
【従来のISO14001認証取得との初期費用比較】

ISO14001認証取得の費用を示した。（図3参照）

【インターネットを活用してISO14001認証取得・維持管理に取り組むメリット】

- 1) 難しいISO規格用語を使用していない。「環境側面」は「重点環境項目」、「環境マネジメントプログラム」は「実効計画」と現場の作業員にマッチするように書き換えている。分厚い環境六法は不要。
- 2) 文書作成に時間をかける必要はない。ISOは文書は少なく・取得はやさしく・実行が重要」を実践。ネット接続のパソコンがあれば簡単に取り組める。
- 3) キングサイズバインダー何冊もの面倒な文書管理に悩む必要がない。ネット上で管理するため、文書の版管理が一元

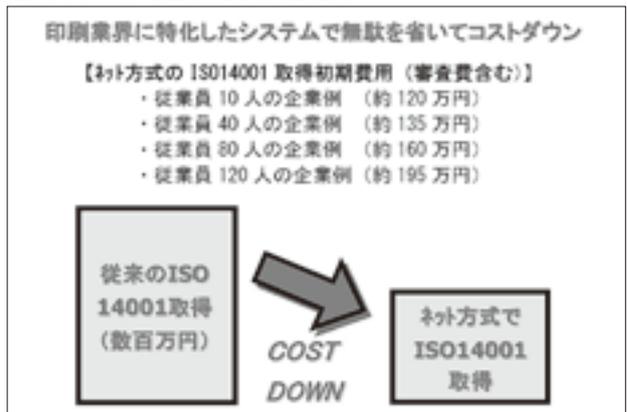
インターネットを活用したISO14001認証取得・管理システム（環境経営印刷ネットワーク）の概要



インターネットを活用したISO取得コンセプト



従来のISO14001認証取得との初期費用比較



化できる。

4) ネットで取り組む前に短期間の研修を用意。初めての方でも安心して利用ができる。また、eラーニングで環境教育も利用できる。

■「インターネットを活用したISO14001取得・管理システム」の詳しい資料は、住所・社名・担当者名・電話・メールアドレスを記入の上、全日本印刷工業組合連合会FAX03（3552）7727まで請求を！

○ 主な基本的施策

県が実施する公共工事その他の県の事務・事業から暴力団を排除するための措置を講じます

県が設置する公の施設が暴力団の活動に利用され、暴力団の利益にならないよう、利用を許可しない等の措置を講じます

暴力団の排除活動等により、暴力団から危害を加えられるおそれがある者に対し、警察が保護のための必要な措置を実施します

県が、暴力団の排除の気運を醸成するための広報及び啓発を行います

青少年に対して、暴力団の排除の重要性を認識させるための指導や助言等の取組を行います

○ 主な禁止行為(行政的な措置)

事業者が、暴力団員等に対して、金品を渡すことの禁止
(金品を受け取った暴力団員等も同じ)

悪質な行為は「助告・公表」

○ 主な禁止行為(罰則)

暴力団事務所として使用されることを知って、不動産を譲渡等することの禁止
(代理・媒介する者も同じ)

悪質な行為は「助告・公表」

学校等の敷地の周囲200メートルの区域内における暴力団事務所の開設・運営の禁止

違反者は「罰則」

暴力団員が青少年を暴力団事務所立ち入らせることの禁止

違反者は「命令」
命令違反者は「罰則」

○ 暴力団排除特別区域(名古屋市中区の区域のうち、錦三丁目、栄三丁目1番～15番まで及び栄四丁目の区域)における主な禁止行為

特定接客業者(※)が、暴力団員を用心棒として利用し、トラブルを解決することの禁止

違反者は「罰則」

特定接客業者が、暴力団員に対し、用心棒代を払うことの禁止

違反者は「罰則」

暴力団員が、特定接客業者のために、用心棒としてトラブルを解決することの禁止

違反者は「罰則」

暴力団員が、特定接客業者から、用心棒代を受け取ることの禁止

違反者は「罰則」

【その他の規定】

- 基本的施策等
 - ・ 県民等による暴力団排除に関する活動に対する支援、情報提供
 - ・ 暴力団からの離脱の促進と社会復帰の支援
- 契約時における措置
 - ・ 事業者が、契約を締結するとき、その契約が暴力団の活動を助長等するものではないことを確認する等の措置をとること【努力義務】
- 暴力団排除特別区域における禁止行為
 - ・ 特定接客業者が、暴力団員に対し、用心棒として雇う目的で連絡等をするものの禁止【助告・公表】
 - ・ 暴力団員が、特定接客業者に対し、用心棒として雇わせる目的で連絡等をするものの禁止【助告・公表】

※特定接客業者：本条例において、接客業のうち、風俗営業、飲食店営業等を営む者を「特定接客業者」として定めます。

■暴力団排除条例への対応と啓発

全ての都道府県で 暴力団排除条例が施行

印刷業界のイメージダウン、
社会的信用を損なわないためにも

昨年12月号において、兵庫県印工組の暴力団排除の取り組みを紹介しました。その後、全印工連より「暴力団排除条例への対応に関する組合員への啓発のお願い」の書類が配布されてきました。

ここでは、「大阪に所在する印刷会社が、暴力団経営のヤミ券売場に印刷物を納品したとして、大阪府および大阪市の公共事業入札から排除されたり、破門状を印刷したとして大阪府警から指導書を交付されたりしたことが報道されています。このような行為は、反社会勢力に手を貸すことになり、印刷業界のイメージダウンとなるばかりか、組合員各社の社会的な信用を損なうことになってしまいます。つきましては、貴工組において、傘下組合員企業への暴力団排除条例の周知・啓蒙をより一層積極的に行っていただきますよう、よろしくお願い申し上げます」との内容が記載されています。

暴力団対応については確りと周知しておく必要があります。そこで、「暴力団排除条例」について、「愛知県警からのお知らせ」を紹介してみますので参考に供してください。（左ページマンガ参照）

この条例は、愛知県から暴力団を排除するため、①県、事業者、県民が果たすべき責務、②暴力団の排除に関する基本的施策、③暴力団の排除に関する禁止行為、④暴力団排除特別区域における禁止行為などについて定めています。

愛知県警によりますと、地域暴排組織（平成22年

●身近な催し物のお知らせ（愛印工組関係）

開催日時	事業・行事、場所、備考	
2月16日(木) 15:30～ 17:00	事業・行事 どころ	愛知県印刷会館竣工記念講演会 講師:大日本スクリーン製造(株) 代表取締役会長 石田 明氏 MEDIAGE Aichi (愛知県印刷会館新名称)3階 講演後17:30から竣工パーティを開催します。
2月18日(土)	事業・行事 どころ	愛知県印刷会館竣工記念セミナー MEDIAGE Aichi 3階 1.プリプレス 10:00～11:30 (株)モリサワ 2.プレス 13:00～14:30 ハイデルベルグ・ジャパン(株) 3.ポストプレス15:00～16:30 (株)ホリゾン西コンサル ※参加費無料(参加対象:組合員)
2月28日(火) 10:00～ 17:00	事業・行事 どころ	Adobe CS テクニカルセミナー ウイングあいぞ 1202会議室 参加費:H22年度購入者 ライセンス購入人数まで無料 未購入者:H23年度購入者 5,000円(お一人) 定員:90名 申込期日:2月20日

●身近な催し物のお知らせ（関連団体）

開催日時	事業・行事、場所、備考	
2月15日(水) 一部 15:30～ 16:20 二部 16:30～ 17:30	事業・行事 どころ	JUMP中部2012 スマートフォン社会の日本人像を探る ～コミュニケーション・ビジネスへの影響～ 講師:アスキー・メディアワークス アスキー総合研究所 遠藤諭氏 企業は経営者で9割は決まる!! ～経営とリーダーシップ～ 講師:株式会社シー・レップ 代表取締役社長 北田浩之氏 MEDIAGE Aichi ※17:40～19:15 情報交換会
2月17日(金) 12:00～	事業・行事 どころ	中部地区印刷協議会 下期会議 キャッスルプラザ

末現在県下47団体）、職域暴排組織（平成22年末現在県下24団体）が、暴力活動を行っているとしています。そのため、県民の皆さんと警察が一体となった暴力排除活動を展開することが必要ですとしています。

いずれにしましても、暴力団排除には「暴力団追放、三ない運動」を推進することが大事になると思います。三ない運動とは、以下の運動をいいます。

- 暴力団を利用しない
- 暴力団を恐れない
- 暴力団に金を出さない

KONICA MINOLTA

大評判

コニカミノルタに全てお任せください。

The essentials of imaging

自撮正

デジタル印刷

環境対応フラット
ケミカルレスCTPシステム

Digital Konsensus Premium
Ultimate Edition

FolioAid AQUA

bizhub PRESS C7000

BLUE EARTH

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社 デジタルイメージング事業部 中部営業部 〒460-0008 名古屋市中区東2-9-15 三井住友海上生命ビル5F TEL. 052-229-4624(代)

■全日本印刷工業組合連合会

平成23年度「印刷業経営動向実態調査」速報

1人当たりの純売上高16,965千円(前年比3.6%減)

全印工連が毎年実施している「印刷業経営動向実態調査」の平成23年結果速報値がまとまった。これは平成23年7月時点(平成22年直近決算期分)で実施したもので、全国のモニター企業約2,000社のうち305社(有効回答数)からの調査票の提出を受けて集計したもの。

売上高をみると、1人当たりの純売上高が16,965千円(前年比3.6%減)、加工高8,208千円(前年比3.5%減)、純加工高7,156千円(前年比3.0%減)とそれぞれ前年比に引き続き減少しているが、純加工高は0.3%増加している。

売上高の分野別構成比では、出版印刷が3.8ポイントと大きく減少しており、代わりに包装(パッケージ)印刷が3.6ポイント増加している。他に、事務用印刷が0.9ポイント、商業印刷が0.5ポイント、その他、特殊印刷が0.6ポイントと、それぞれ増加している。

経営諸数値では、機械装置額1,972千円(前年比13.5%)、

人件費4,537千円(前年比5.5%減)、営業員売上高77,177千円(前年比8.1%減)と前年からわずかであるものの増加している。

受注先の業種別売上高構成比は、「その他製造業」が16.1%、「印刷」が15.0%、「卸売・小売」が11.2%と上位を占めた。

就業人員の部門別構成比では、全体的にほぼ横ばいだった。

労働日数・労働時間では、年間所定・所定内労働時間が約20時間増加し、年間所定外労働時間が約7時間減少している。結果、年間総実働労働時間は2,146時間2分で、前年から約15時間増加した。

集計結果を全体的にみると、売上高・純利益はいまだ低下傾向にあるが、人件費の抑制や付加価値を増やすことで利益率を確保していることが伺える。

売上高構成比

調査年次(年度)	企業数(社)	平均人員(人)	純売上高(1人平均,千円)	前年比(%)	材料費(%)	外注加工費(%)	商品仕入(%)
平成 14	604	56.8	19,043	▲4.4	20.9	25.6	5.0
15	564	61.1	18,720	▲1.7	21.7	25.0	5.0
16	532	62.4	18,623	▲0.5	21.7	24.6	6.1
17	474	61.9	18,890	1.4	21.3	25.3	5.4
18	443	60.7	18,504	▲2.0	23.2	24.0	5.3
19	422	64.8	18,764	1.4	22.9	25.4	4.5
20	402	69.0	18,758	0.0	24.0	23.2	6.1
21	393	63.8	19,545	4.2	25.6	22.9	5.6
22	360	65.4	17,601	▲9.9	25.0	20.8	5.9
23	350	63.7	16,965	▲3.6	24.8	21.5	5.3

調査年次(年度)	加工高(1人平均,千円)	前年比(%)	加工高比率(%)	減価償却費(%)	リース・賃借料(%)	純加工高(1人平均,千円)	純加工高比率(%)
平成 14	9,225	▲3.3	48.4	3.6	2.3	8,090	42.5
15	9,053	▲1.9	48.4	3.5	2.3	7,963	42.5
16	8,870	▲2.0	47.6	3.5	2.3	7,793	41.8
17	9,074	2.3	48.0	3.5	2.1	8,012	42.4
18	8,806	▲3.0	47.6	3.7	1.9	7,782	42.1
19	8,855	0.6	47.2	3.6	2.1	7,787	41.5
20	8,753	▲1.2	46.7	3.8	1.9	7,697	41.0
21	8,958	2.3	45.8	4.0	2.2	7,730	39.5
22	8,507	▲5.0	48.3	4.4	2.0	7,381	41.9
23	8,208	▲3.5	48.4	4.4	1.8	7,156	42.2

PP貼サービス始めました
制作から印刷・製本・発送まで自社一貫体制
 ◎カラーもモノクロもページもの印刷得意です
 ◎厚紙パッケージ菊全4色印刷始めました
 -0.04mmの薄紙から0.8mmまでの厚紙まで-
 ◎菊全シルバーマスターでのページもの印刷もできます

大日印刷株式会社
 ☎0564-62-8461(代)☎
 幸田工場 旗田郡幸田町大字坂崎字石ノ塔46-1 FAX(0564)62-8463
<http://www.p-dainichi.com> E-mail:mail@p-dainichi.com

●印刷機械
 ●製本機械
 ●製本機
 ●DTP関連機
 ●印刷諸材料
 ●データ制作
 ●オンデマンド印刷
 ●データ出力

お役に立てる
 印刷関連
 総合商社

株式会社 **盛功社**
 〒461-0014 名古屋市中区種本町3丁目17番地
 TEL 052-632-5611 FAX 052-631-0280
<http://seikohnet.jp/>

120余年の伝統に
 培われた信頼と
 先進の
 テクノロジー

調査年次 (年度)	純売上高 (1人平均,千円)	出版 (%)	事務用 (%)	商業 (%)	証券 (%)	包装 (パッケージ印刷 (%))	その他 特殊印刷 (%)	ソフト・サービス (%)	印刷以外 (%)	計 (%)
平成 14	19,164	17.6	14.4	47.4	3.7	8.7	1.6	1.3	5.4	100
15	18,663	15.7	13.3	48.4	3.4	12.1	0.8	1.1	5.1	100
16	18,596	16.1	13.8	46.9	3.5	11.4	1.1	1.5	5.6	100
17	18,478	18.2	12.3	46.8	3.1	13.3	0.7	1.7	3.9	100
18	18,421	16.6	13.4	47.1	2.0	12.6	0.8	1.8	5.8	100
19	18,848	17.4	11.5	49.3	1.1	11.6	0.7	2.1	6.3	100
20	18,614	16.1	10.7	47.7	1.0	14.5	0.8	2.4	6.8	100
21	19,952	14.6	10.0	50.6	0.8	14.7	1.8	3.0	4.4	100
22	17,595	19.0	11.3	44.5	1.6	14.1	1.9	2.5	5.2	100
23	17,144	15.2	12.2	45.0	1.1	17.7	2.5	2.5	3.9	100

売上高の分野別構成比

調査年次 (年度)	機械装置額 (1人平均,千円)	人件費 (1人平均,千円)	前年比 (%)	加工高対 人件費比率 (%)	営業売上高 (1人平均,千円)	前年比 (%)
平成 14	2,189	5,245	0.0	56.6	91,950	▲ 5.3
15	2,142	5,090	▲ 3.0	56.1	88,100	▲ 4.2
16	2,163	5,019	▲ 1.4	56.5	87,446	▲ 0.7
17	2,207	5,062	0.9	55.7	85,420	▲ 2.3
18	2,384	4,899	▲ 3.2	55.6	88,562	3.7
19	2,294	4,972	1.5	56.0	90,431	2.1
20	2,446	4,940	▲ 0.6	56.1	91,189	0.8
21	2,544	4,868	▲ 1.5	54.0	93,462	2.5
22	2,281	4,803	▲ 1.3	56.5	84,015	▲ 10.1
23	1,972	4,537	▲ 5.5	55.2	77,177	▲ 8.1

経営諸数値

調査年次 (年度)	営業利益率 (%)	経常利益率 (%)	純利益 (1人平均,千円)	純利益率 (%)	自己資本比率 (%)
平成 14	3.0	2.9	209	1.1	32.5
15	3.1	3.0	183	1.0	34.5
16	2.6	2.5	172	0.9	34.7
17	3.3	3.5	232	1.2	37.4
18	2.7	3.0	223	1.2	37.5
19	2.1	2.3	191	1.0	36.1
20	2.0	2.4	206	1.1	37.0
21	2.0	2.2	128	0.6	35.5
22	1.4	1.9	125	0.7	38.7
23	1.6	2.0	119	0.7	38.3

なお、総評など詳細な分析を加えた報告書冊子は頒布価格が6,300円、組合員以外15,750円で3月上旬の頒布を予定している。
(本文、表とも日本の印刷1月号より抜粋)

■第46回「造本装幀コンクール」作品募集 2月1日～4月2日まで受け付け

(社)日本印刷産業連合会と(社)日本書籍出版協会が主催する第46回造本装幀コンクールの作品募集が2月1日から始まった。対象作品は2011年1月1日から12月31日に刊行された書籍。

今回から審査委員に読者代表として女優・脚本家の中江有里氏を加え、柏木博(武蔵野美術大学教授)、浜田

桂子(絵本作家)、緒方修一(装幀家・デザイナー)、ミルキイ・イソベ(同)の各氏が審査にあたる。豪華本から文庫本まで、さまざまなジャンルの印刷・製本・加工技術の粋を集めた“美しい本”が選考される。

表彰式は年に一度の国内最大の「本」の展示会である第19回東京国際ブックフェア(7月5日～8日、東京ビッグサイト)で行われるほか、会場内では入賞作品を含む全応募作品が展示される。また、入賞作品は、ドイツ・ライプツィヒで開催される「世界で最も美しい本コンクール」へ日本代表作品として出品される。

▼応募要項

募集期間/2012年2月1日(水)～4月2日(月)

対象/2011年1月1日～12月31日に刊行された書籍

部門/①文学・文芸(エッセイ)、②芸術書、③児童書・絵本、④専門書(人文社会科学、自然科学など)、⑤語学・学参・辞事典・全集・社史・年史・自分史、⑥生活実用書、文庫・新書・叢書・コミック・その他

出品料/1点5,000円

▼詳細については

事務局：(株)印刷出版研究所 TEL03 (5155) 7925

紙でご愛顧50年

印刷用紙専門商社



メイカミ

名古屋紙商事株式会社

社長 長谷川 志

名古屋市中区主税町4-83 〒461-0018
TEL.052-931-2221(代) FAX.052-932-1418
豊山加工センター 愛知県西春日井郡豊山町豊場
TEL (0568) 28-2049



愛知県印刷工業組合が後援する新春恒例の「光文堂新春機材展」が1月20・21の両日名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)において開催された。

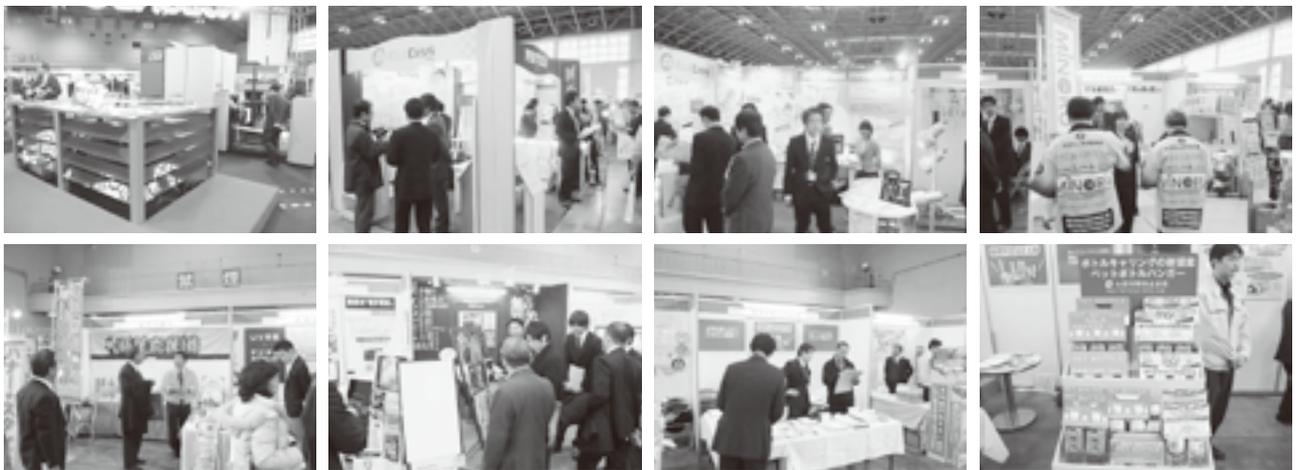
初日9時30分より会場入り口においてオープニングセレモニーが開かれ、主催する光文堂讃岐秀昭社長の挨拶、高井昭弘愛印工組理事長ら来賓の挨拶が行われた後、テープカットを行い展示会がオープン。

会場では、出展各社自慢の機材・ソフトなどが披露された。今年は2日間とも天候が不順であったにもかかわらず、大勢の見学者が詰め掛け、情報収集に余念がなかった。また、併催されたコラボレーション展においても、展示製品の説明に真剣に聞き入る姿が印象深かった。

主催した光文堂の発表によると、来場者数1,880社7,700名が訪れた。

光文堂からは、デジタルカラー印刷機「KBD XEIKON」、発光インクによる「KBD TRICK PRINT」、インパクトの高いLEDサイネージ「KBD GURU2 LED」などのサイネージソリューション製品、デジタルホットスタンププリンター「KBDデジハク」、インクジェットダイレクトプリンタ「KBD SUPERダイレクト」、環境対応の枚葉インキ、ペーパーリング製本機など、新しいビジネスモデル構築の各種製品が披露された。

コラボレーション展には、愛印工組傘下の(株)エムアイシーグループ、(株)近藤印刷、大信印刷(株)、(株)二和印刷紙業、プリ・テック(株)、豊陽印刷(株)、(株)メイセイプリントなどが出展し、自慢のノウハウを披露していた。



光文堂(上)、豊陽印刷(下)

プリ・テック(上)、エムアイシーグループ(下)

近藤印刷(上)、メイセイプリント(下)

二和印刷紙業(上)、大信印刷(下)

事務局だより

■各組合の新年会で明け暮れた1月はあっという間に過ぎてしまいました。当組合の新年互礼会には、たくさんの方々のご参加をいただき無事

に開催できました。誌上を借りてお礼申し上げます。■2月16日には新印刷会館「MEDIAGE Aichi」の披露パーティーがあります。新しい会館を見ていただきたく思いますので、是非ご参加ください。印刷の情報発信基地としての役割を担い、どんどん情報を発信していきますので、ご

期待ください。■事務局は、2月11日の神事の後引越しをし、13日より業務を開始します。住所・TEL・FAXは以下のとおりです。

〈住所〉〒461-0001名古屋市東区泉一丁目20番12号 MEDIAGE Aichi (メディアージュ愛知)前愛知県印刷会館
TEL.052(962)5771 FAX.052(951)0569



あいちの印刷

No.483

平成24年2月10日発行

発行人 高井昭弘
編集 組織・官公需委員会
発行所 愛知県印刷工業組合
〈仮移転先〉 愛知県製本会館5階
〒461-0005 名古屋市東区東桜2-9-22
TEL (052) 508-5201
FAX (052) 979-5366

◆ホームページアドレス <http://www.ai-in-ko.or.jp/>

◆E-mailアドレス jimukyoku@ai-in-ko.or.jp